

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

株式会社イズミ（証券コード:8273）

【据置】

長期発行体格付	A+
格付の見通し	安定的

■格付事由

- (1) 中四国、九州地方で大型ショッピングセンター「ゆめタウン」を中心に展開する総合スーパー（GMS）。グループでは「ゆめマート」などスーパーマーケット（SM）も出店している。グループ店舗数（21年8月末）は中国地方94店、九州地方84店、その他17店の合計195店であり、中国および九州地方で事業基盤を構築している。「2030年長期ビジョン」では、中四国・九州エリアを軸に300店舗体制の実現を掲げている。
- (2) 安定した業績が見込まれる。新型コロナウイルス感染拡大がライフスタイル（衣料品・住居関連品）部門およびテナントの売り上げに影響を及ぼしている。ただ、食料品販売は比較的底堅く推移するとみられること、経費コントロール強化の効果が出ていることなどから、今後も一定の収益力を維持していくと考えられる。設備投資はSM、GMSの出店や既存店活性化を中心に実施されるが、中期的にみて、営業キャッシュフローの範囲内で実施されると考えられる。利益蓄積に伴う自己資本の増加もあり、財務構成の改善が進むとみられる。以上より、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- (3) 22/2期の営業利益は367億円（前期比2.6%増）の計画である。新型コロナウイルス感染拡大による一部売場の休業、外出自粛などの影響で営業収益の回復に遅れがみられる。ただ、在庫コントロールなどによる直営部門の粗利益率改善、人件費や広告宣伝費をはじめとした販管費の抑制が利益面に寄与すると予想される。22/2期から5年間の第二次中期経営計画では、SM事業を成長ドライバーと位置付け、GMS事業ではアパレル面積の適正化やコミュニティ機能の強化、DX活用による新規顧客開拓や生産性向上などに取り組んでいる。今後、これら施策の進捗および既存店売上高の回復状況をフォローしていく。
- (4) 財務構成の改善が進んでいる。21/2期末の自己資本比率47.5%（前期末43.7%）など、財務諸指標は有利子負債の削減、自己資本の増加により良化している。22/2期の設備投資は既存店活性化のほか、デジタル投資などにより増加する見込みである。ただ、フリーキャッシュフローはプラスを維持し、有利子負債の削減が続くとみられる。

（担当）千種 裕之・大塚 浩芳

■格付対象

発行体：株式会社イズミ

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A+	安定的

格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2021年10月25日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：殿村 成信
主任格付アナリスト：千種 裕之
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「小売」(2020年5月29日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 株式会社イズミ
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル